

The 50th Japan Contemporary Arts and Crafts Exhibition

第50回記念  
日本現代工芸  
美術福岡展

会期：平成28年5月10日(火)～5月29日(日)

会場：1階・2階 市民会館(福岡市中央区)

入場料 無料

受付時間：9時～17時(日曜・休)

主催：公益財団法人福岡市文化振興財団、福岡市文化振興財団、福岡市文化振興財団

共催：福岡市文化振興財団、福岡市文化振興財団、福岡市文化振興財団

後援：文化庁、福岡県、福岡市、福岡市文化振興財団

協賛：福岡市文化振興財団、福岡市文化振興財団、福岡市文化振興財団

現代工芸美術家協会は今年から50年目に、西村智恵、白樺庵太郎両氏を中心に日展工芸部で活躍していた当時の作家が集まり、新しい工芸運動の旗手として存続しました。

半世紀にも及ぶ歴史の中で私たちの生活様式も変化し、又、新しい素材の開発も進み、あらゆる新しい時代の変化がありました。その結果、日々私たちの生活も、それに順応した工芸文化も様々な方向性や芸術性が生まれました。

しかしながら、第一回の理念「知にとらわれぬ芸術者高い工芸美の追求」は現在も、随々と会員の中に受け継がれております。今回のこの現代工芸美術展は、第55回の記念すべき回覧会です。

本展では、日本の工芸界を代表する文化芸術者、日本芸術院会員を始め、現代工芸の分野で活躍する積極的作家群による、個創的なコンセプトによって表現された多様な作品を一同にご紹介いたします。各作家が活躍する時代感溢れる文化環境しながら、陶器、漆器、金属、漆、木、竹、人形、ガラス、革、紙、七宝など、それぞれの特徴と対峙し、情念や思考を深め詰めることで進み出した、様々な形や色彩の造形美観をご覧いただき、現代の美術工芸における試みがある表現と新しい工芸の世界をご堪能ください。ここに開催する運びとなりました。

**■全国巡回作家**

大塚 博明	藤田小由女	三浦 浩一	中村 政文						
大塚 正典	岡野 肇	藤山 文典							
津路三三門	西本 慎賢	吉岡 邦夫	伊藤 祐昭	原 昌夫					
西本 清高	石川 文忠	亀井 健	高沢 利雄	高橋 清夫	武藤 一重				
宮前 勇平	岡田 共興	藤岡 仁	藤本 雅道						
相沢 尊雄	赤坂 繁彦	大塚 年雄	藤岡 正昭	藤 孝	池田 計悦				
曾根 洋司	森野 浩希	津路 浩二	西村 正	西村 康治	西本 康文				
林 善政	西貴 俊夫	千原 進	榎 淳子	荒川 正治	酒保 清昭				
山崎 大成	横倉 淳子	堀山 裕規	遠辺 洋子						
立川 康治	山本福与志	北村 勲丸	竹原 公典	西 耕	平島 嘉郎				
高橋九洲丸	下坂 利和	辻内内 豊	本田 宗也	村前 典樹	本間 秀昭				
中村 康徳	岡本 裕	江野 賢登	戸戸 満子	鈴木 博昭	木崎美津子				
石原 直樹	西 孝子	北原隆 守	山中佳美美	川西 新徳	藤科 慧夫				
吉野 豊一	清原 正人	松原百合子	西原幸与郎	西本 洋介	須 清寿				
山崎 友典	相岡 隆二	大西 康広	石上久美子	岡崎洋子こ	成瀬 登門				
西島真代子	蟹家 清武	大村 弘真							

**■特別出品作家**

西本 康山	辻 誠徳	中島 啓	高橋三三門	藤岡 茂吉
-------	------	------	-------	-------

**■地元作家**

陶器類	堀原 由梨	野 茂樹哉	小島 謙二	山口 博也	北村 淳子	藤岡 孝一
	丸工直樹三	藤本 康二	堀崎 典子	杉森 保雄	池田 新彦	田中 康徳
	田中 寿子	中島 久岡	藤岡 興一	松原 清徳	北沢 淳子	
金属類	今村 肇	今村 博	大尾 利秋	小川 隆光	藤倉 隆平	下平 博徳
	辻 雅彦	永嶋 淳子	中村 博	藤家 博樹	相岡 隆二	大西 康広
	藤上 雅人	藤岡 正徳	松原 康彦			
漆器類	志原 芳正	加野 豊一				
漆本類	藤津 朝樹					
大形類	藤山 佳子	藤岡分吉子	大塚 信孝			
現代美術類	大塚 肇	大塚 清彦	久保 淳子	藤岡 孝治	西々木真理	藤原武久二
	横江 啓二	藤ノ上洋子				
版画類	大塚 淳子	藤岡 満子	藤本 淳子	榎 淳子		
図録類	中島 孝徳					